

予算決算委員会

予算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会



12月12日

議案第65号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)

緊急避難場所を整備

○防災施設環境整備費／緊急避難場所整備事業費補助 225万円

【概要】

民間施設の津波避難ビルのトイレ改修を行うため、国に対し津波避難施設整備事業補助金を申請する予定であり、その交付見込額を新規計上するもの。

質疑

今回トイレを修繕する建物は、現在どのような目的で利用されているのか。

答弁

地域住民が会議などで使用するなど、多目的で利用されている。

質疑

現在、津波避難ビルとして利用しているが、本市の防災計画の中で、地震などの避難場所としての活用について、検討する余地はあるのか。

答弁

この地域は津波浸水予測区域であり、当該施設は、津波の指定緊急避難場所としている。そのため、津波以外の災害における避難所利用について、施設管理者との協議は行っていないが、施設管理者の意向を確認して、今後の検討を進めたい。



今回対象となる津波避難ビル

文教環境分科会



12月11日

議案第65号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)

物価高騰の影響による学校給食の食材費の増額

○学校給食費管理費／食材調達費 5,011万5,000円

【概要】

新米単価やその他の食材の物価高騰の影響により、現計予算では年度内の学校給食の提供が困難となってきており、給食の質の確保に必要となる食材購入費用を計上するもの。

質疑

給食1食当たりの単価は。

答弁

補正予算による1月以降の金額改定後として、1食当たり、幼稚園と小学校は350.62円、中学校は405.64円となる。

質疑

年度末までに市場での米の価格が下がった場合、給食用米の価格の変更はあるのか。

答弁

給食用の米の価格は、毎年10月から翌年の9月末までを1年間として、新米の単価が決定されており、今年度は、10月から3月末までの価格を10キログラム当たり8,270円で、三重県学校給食会が業者と契約している。鈴鹿市は、炊飯した米飯として三重県学校給食会から調達するという形をとっており、この10キログラム当たり8,270円の単価が、年度末まで継続されると理解している。